

10 月 26 日：VN 指数は大きく下落 (VN-Index -4.19%)

- 世界の主要市場での株価下落の流れはベトナム株式市場にも波及し、VN 指数は下落して取引を開始した。
- 時折反発の動きも見られたものの、売り方の勢いは一向に収まらず、取引開始後わずか 1 時間ほどで本日の底値（前日終値比約-4.5%）を記録した。そこから大引けにかけてはほぼ横ばいの動きで推移した。
- 中国の大手不動産会社カントリー・ガーデンが初めてデフォルトを引き起こしたことも市場心理の悪化につながった。
- 主に、ビンググループ関連銘柄を中心に大きく売られ、その他にも同国を代表するような大型銘柄（MSN、GVR、PLX）なども下げを主導した。
- 24 銘柄が上昇、505 銘柄が下落、31 銘柄が横ばいと、ほぼ全面安で終了。
- しかし、心理的な節目である 1,000pt 近傍では買い方による強い底値拾いの動きも見られ、一日を通じた流動性は前日より 111%超の大幅増加と、売買代金は 23 兆ドンを記録した。

VN30 指数は市場全体の下げを主導 (VN30 -4.34%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 30 銘柄すべてが下落と、ベトナム株全体の下げを主導した。
- ビンググループ関連の VIC (-6.94%)、VHM (-6.90%)、VRE (-6.99%) の他、MSN (-6.97%)、PLX (-6.93%)、GVR (-6.3%) なども大幅下落。
- 一方、BID (-0.49%) の下げ幅は最も微小だった。

セクター・個別株の動き

- VHM (-6.90%) は一日を通じてストップ安が続いた。下落の要因としては①寄り付き前の ATO セッションにおける大量の売り注文が、投資家たちの不安心理

を仰いだことと、②相場全体がリスクオフの環境で転換社債の発行が発表され、株式と比較し一般的にリスクの低い債券へのポジション調整が考えられる。

- BID (-0.49%) は環境プロジェクトへの資金供給のため、2 兆 5,000 億ドルのグリーンボンドの発行に成功。国際的な信用格付け機関、ムーディーズによる評価を得た国債の発行としては国内初で、投資家の注目を得た。
- 外国人投資家は 1,038 億ドルの売り越しと昨日より減少。個別銘柄では VHM と SSI が最も売られた。一方、昨日に引き続き、DGC が大きく買われていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。